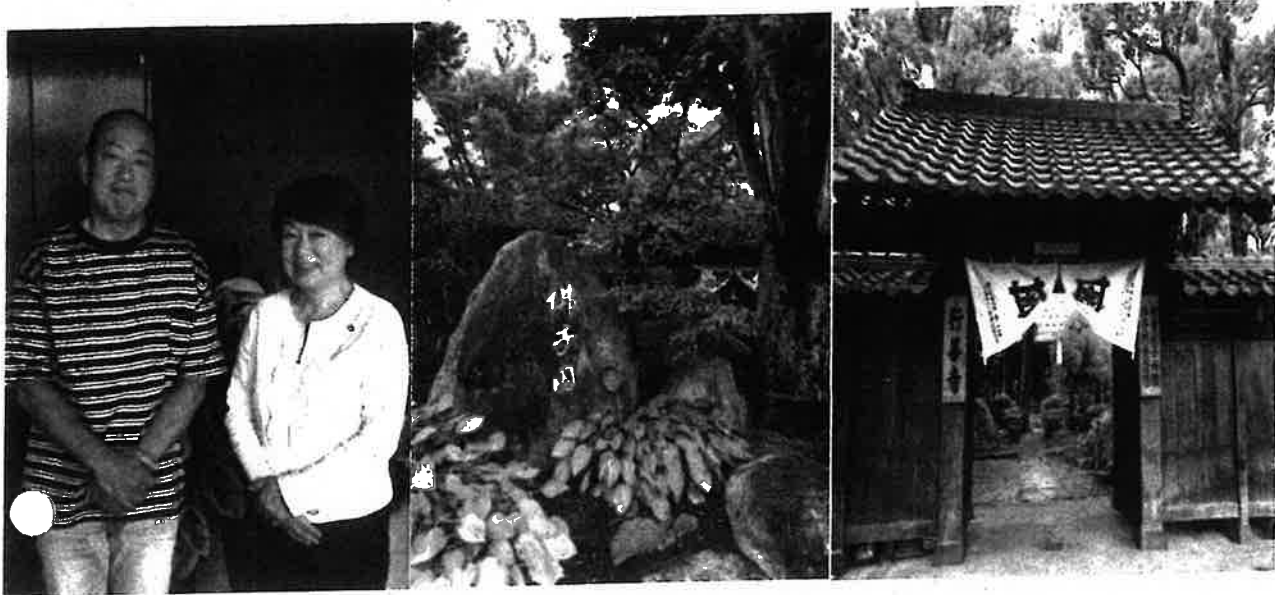


# 政務活動報告書

会派名 無所属(りんごの会) 石岡 千鶴子

年 月 日	令和 7 年 8 月 7 日 ~ 令和 7 年 8 月 9 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	8日(金) ①午前11時…社会福祉法人佛子園(石川県白山市) ②午後2時…Share金沢(石川県金沢市)			
	7日(木) 弘前-新青森駅-大宮駅-金沢駅(金沢市内泊) 8日(金) 金沢駅-社会福祉法人佛子園-金沢駅-Share金沢-金沢駅-大宮駅(さいたま市内泊) 9日(土) 大宮駅-新青森駅-弘前			
相手方 (会議名等)	石川県白山市:社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成			
	石川県金沢市:社会福祉法人佛子園 Share金沢 マネージャー 速水 健二			
参加議員名	石岡 千鶴子			
活動の概要	別紙のとおり			
※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	鉄道賃及び宿泊費	63,110 円	1	
		円		
		円		
		円		
		円		
	合計額	63,110 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

期 日 令和7年8月7日（木）～8日（金）



## 視察項目 「ごちゃませで」で挑む地方創生

石川県白山市に本部を置く「社会福祉法人<sup>ほつしえん</sup>佛子園」の理事長である雄谷良成（おおやり ようせい）氏に、社会福祉分野での起業や事業創出をめざす人たちに向けて、同法人ならではの「ごちゃませ」をコンセプトとする事業の詳細「ソーシャルイノベーション」を切り口に伺った。

※「ソーシャルイノベーション」とは日本語に置き換えれば、「社会変革」となる。その定義は専門家によってさまざまだが、「複雑な社会的課題を解決するために新しい手法や仕組みを生み出し、持続的に実践する」という背骨の部分は共通している。

【所 感】戦後まもなく生まれた日本特有の制度である社会福祉法人は、社会福祉法の規定に基づき、社会福祉事業を行うことを目的として設立される非営利の特別法人で、非課税、補助金などの優遇を受けている。全国で2万法人ほどあるとされ、国内約16万ヶ所の福祉施設の45%近くが社会福祉法人によって運営されている。しかし、過去の措置制度下で行政の下請けに徹していればよかった古い体質がいまだに抜けきらず、多様化する社会福祉ニーズへの対応や社会還元の意欲に欠ける点に批判も多い。

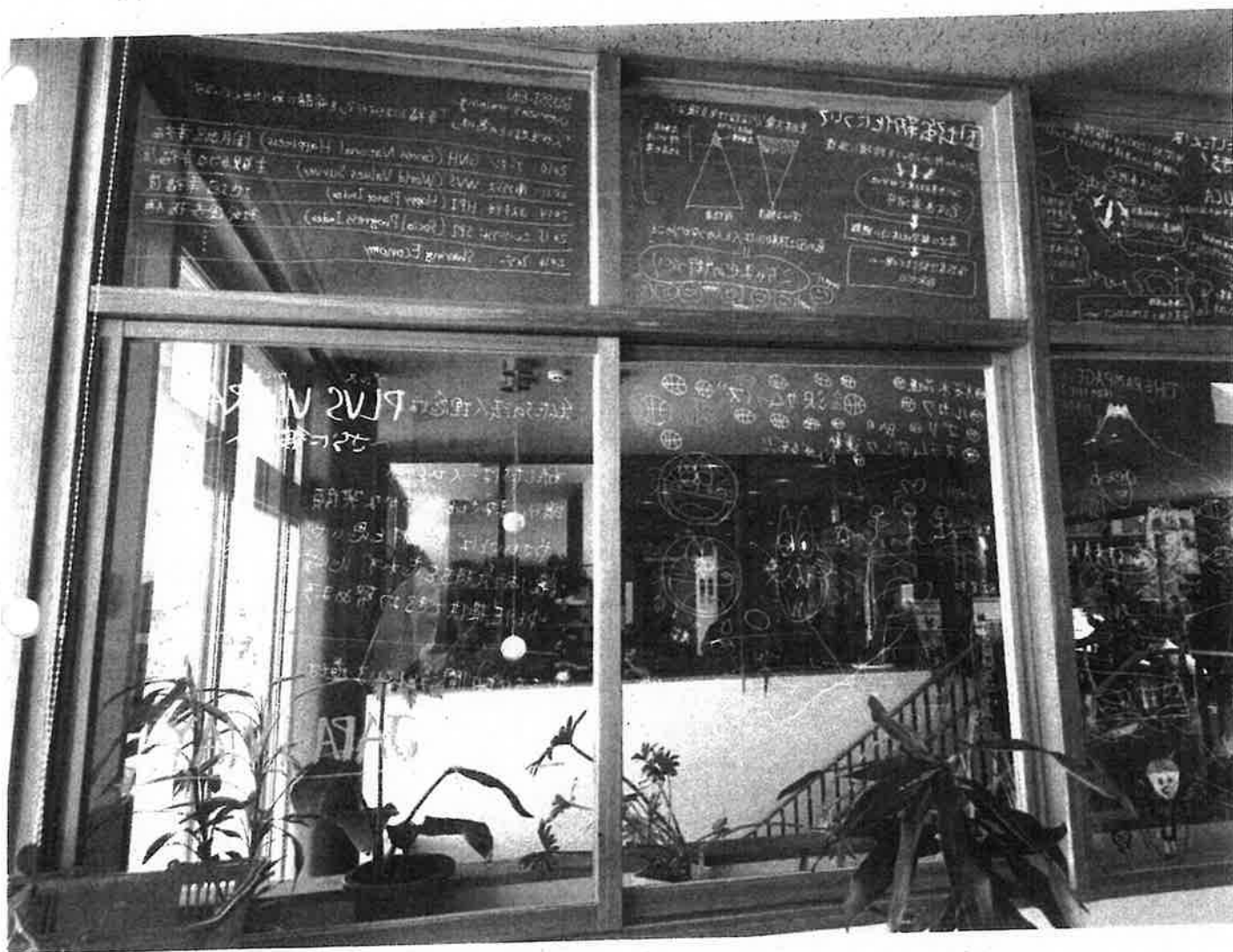
一方、佛子園はこうした批判に当てはまらない独自の事業展開を続けており、その取り組みの多くは先進的かつユニークだ。「ソーシャルイノベーション」の定義にぴたりと重なる。また、同法人のリーダーである雄谷良成理事長は、ソーシャルアントレプレナー（社会起業家）として、社会福祉の世界で知らぬ人はいない存在ともなっている。

2022年10月にNHK Eテレ「こころの時代～宗教・人生～」で放送された「地域とつくる“ごちゃませ”福祉」。「ごちゃませ」とは、福祉分野における「佛子園」という

社会福祉法人が推進する地域づくりで、子ども、高齢者、障害者など、さまざまな人々が交流する中で、お互いの役割が変化し、新たなつながりが生まれる仕組みを指している。

こうした雄谷良成氏の考えは、雄谷氏自身、幼い頃から障害児と共に暮らす中で、「ごちやませ」をいわば原体験した中から生み出されたものだという。また、もう一つの原点は青年海外協力隊員等として4年弱ドミニカ共和国に赴任し、障害者教育の指導者育成に取り組んでいる。同国での活動の中で現地の人々がたとえ血縁でなくても困っている障害者や高齢者を助け、支え合うシーンを何度も目にし、日本では希薄化した地域コミュニティの結びつきの強さを実感したという。

雄谷氏の超過密スケジュール中であって、面談時間30分間という貴重な時間を割いていただき感謝に耐えません。私の質問に真剣にしかも穏やかな口調で話され、僧侶としての懐の厚さ大きさを感じた時間であった。



「Bs 行善寺」では、ガラス窓いっぱいに絵やイラストが自由に書き込まれている。自由な空間が感じ取れる。「人と人の交わり」や「人と人のつながり」こそが、高齢者も障害者も地域住民も元気にすると佛子園では考えている。従来型の知的障害児・障害者支援施設のイメージを持ったまま

訪れると、驚かされる点が多い。突然、奇声を発生することもたびたびであるが、驚き振り向くのはこの施設を見学に来た方だけという。ここでは日常であり普通なのである。



施設の中庭に設けられた遊び場。夏休みの午前中、近所の子ども達が自由に遊んでいる。



行善寺の境内で遊ぶ子供たち。

## 視察項目 福祉のまちづくりに挑戦「シェア金沢」について

障害者が地域住民や高齢者などと交流し、就労できる場を求めて、佛子園が誕生させた施設であるが、2014年12月、「日本版 CCRC の構想化を盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。この構想検討過程で安倍晋三首相は「シェア金沢」に視察に訪れており、施設内の各施設をつぶさに見て回る一方で、「シェア金沢」に住む高齢者や学生、障害児、集まった周辺地域住民らの声を直接聞くことに貴重な時間を割いたという。日本版 CCRC である「生涯活躍のまち」で目指すべき具体的な方向性を首相は「シェア金沢」で確信したに違いないと関係者は述べている。

【所感】 「シェア金沢」は、金沢市中心部から東へ車で10分ほどのなだらかな丘陵地の一角にある。新興住宅街に接しながらも周辺には豊かな自然が残る。敷地面積は約3万5700㎡。坪数にすれば約1万1000坪。

現在ここに、サービス付き高齢者向け住宅6棟、障害児・障害者入所施設4棟、児童発達支援センター、放課後等デイサービスセンター、学生対象の賃貸住宅、天然温泉の入浴施設、レストラン、高齢者デイサービス&訪問介護ステーション、障害者向けグループホーム、全天候型グラウンド、クリーニング取次店、コインランドリー、NPO法人および民間企業オフィス、カフェ&バー、キッチンスタジオ、ボディケア店、共同売店、ブータンの工芸品ショップなど軒を並べる。ドックラン、アルパカ牧場、自家菜園用の小規模農園も併設し、多機芸能なひとつの“まち”を形成している。

このほか、「シェア金沢」では大学生も暮らしている。同施設のある金沢周辺エリアには、金沢大学、金沢美術工芸大学、北陸大学などがあり、対象を大学生に絞った1Kの賃貸住宅6戸と、金沢美術工芸大学の学生向けに天井の高いアトリエを横に備えたトレーラーハウス2戸。家賃3~4万円と割安な設定とする一方で、入居学生には月30時間のボランティア活動を義務付けている。ボランティアの中身はさまざまで、「シェア金沢」内にある「若松協働売店」での商品販売、障害児入所施設での衣類の洗濯と洗濯物を仕舞う仕事、天然温泉の稼働設備の電源スイッチを朝一番に押す役割など。また、トレーラーハウスに入居する美大生には、身に着けているスキルを活かして、高齢者や障害児に絵画などを教えたり、「シェア金沢」敷地内のテナントの窓ガラスなどに事業PRにつながるイラストを描いたりするボランティアもしてもらっているという。

アルパカ牧場には二頭のアルパカが木陰で休んでいた。歯が下あごにしか生えていないのでかじられても痛くないそうで、朝、子ども達がアルパカを連れて敷地内の散歩を欠かさないそう。

敷地の一角に工事をしている場面に出くわす。聞くと「トレーニングジム」の建設だという。建設にあたっては近隣住民から要望を聞き、反映させているという。左右を注視しながら歩いていくと進行方向の右手に樹齢を重ねていそうなシイの木が四方に枝を伸ばし、大きな木陰をつくっている。そばには住民の屋外交流の場となるウッドデッキが設けられ、「ウクレレ教室」や定期的にコンサートがあるという。

老若を問わない多世代間の交流が、「シェア金沢」に住む人たちにとって、あたたかな魅力となっている。

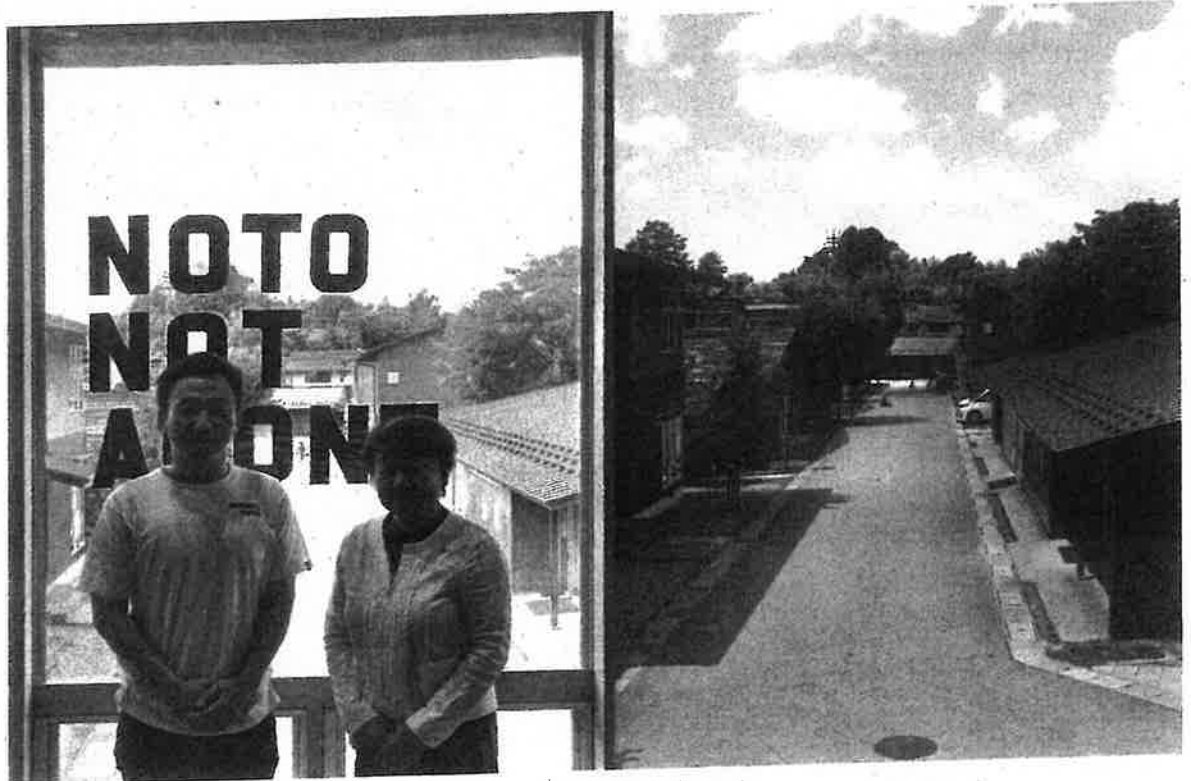
まち全体の設計にあたっては住民間のコミュニケーションを深めるため、あえて道幅を狭くしたり、窓からの眺め、目にとまる植栽など「心地よい」と感じるまち中の環境に努めたという。

ただ住居環境が素晴らしいというだけでなく、雄谷良成氏が青年海外協力隊の経験が活かされ、ブータン王国から蕎麦を輸入し、それを「シェア金沢」で製粉し蕎麦としてお客様に提供する。ブータン王国からフェアトレードにより、ブータンの生産者は2倍の収入となり、「シェア金沢」では障害者の就労につながっている。

「シェア金沢」建設にあたっては、当時、法人内には内部留保はほとんどなかったというが、雄谷氏や特任参与の方ら佛子園幹部は土地取得の意思を固め、地元銀行に相談。佛子園が描く計画と理想に共感した銀行側担当者が行内で奮闘して融資の目途が立ち、経験のないまちづくりへの挑戦が実行に移されたという。

「シェア金沢」を案内し、説明して下さった速水マネージャーは「雄谷理事長はたった30人の障害児のためにこのまちを作った」と話されていました。今でも心に響きます。

地域住民が助け合い、心地よさや安心感を醸成する地域共生社会が時代の変化で失われつつあり、今、その再生が叫ばれています。高齢化と人口減少を止めることは難しいですが、「佛子園」、「シェア金沢」の「ごちゃまぜ」の思想を旗印に、市民が共に支え合い、幸せを実感できる成熟した地域社会の実現を弘前市も目指すべきだと感じました。



(左)「シェア金沢」マネージャーの速水健二さんと。

(右) 2014年3月にフルオープンした「シェア金沢」。「生涯活躍のまち」の先進モデルとして、今も注目を集める。

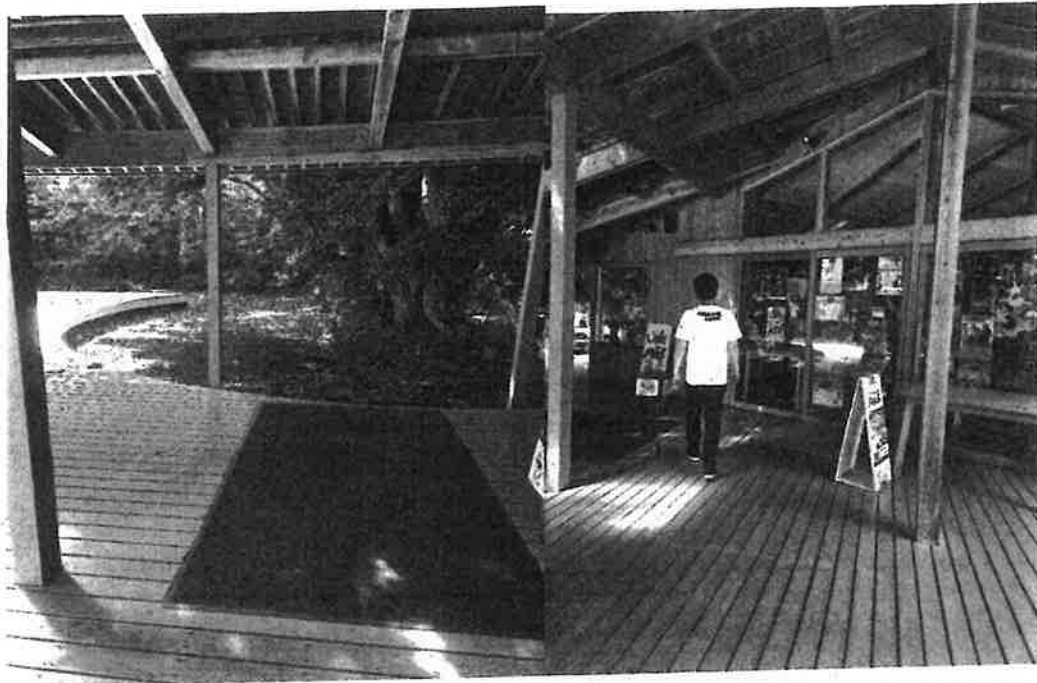


(左) 高齢者、障害児、学生が住むまち。まちの中心はハード（建物）ではなく人であるという考え方。クリストファー・アレグザンダーの「パタン・ランゲージ」を参考にした雄谷良成氏の考え。住民間のコミュニケーションを深めるため、あえて道幅を狭くした小径。

(右) 敷地内の雑木林で子どもたちが遊ぶ。それなりのケガはするというが、いっこうに気にするふうはない。



(右) 左右を注視しながら奥を目指し歩いていくと、進行方向の右手に樹齢を重ねていそうなシイの木が四方に枝を伸ばし、大きな木陰をつくっていた。



(左) 住民の野外交流の場となるウッドデッキ



(左) 定期的にコンサートが行われる。この日はウクレレの発表会があるとの事だった。

(右) 牧場には二頭のアルパカがいる。子ども達は朝の散歩を欠かさない。



美大生のためのトレーラーハウス

【最後に】2022年10月NHK Eテレ「こころの時代 ～宗教の人生～」を観て、心がわしずかみにされたような衝撃を受け、それ以後「ごちゃまぜ」が心から離れなかった。本来あるべきまちの形がそこにあったからだ。

2年ほど前から、議会事務局の方に視察依頼をお願いするが、「7人以上の議員」が条件でしかも超多忙な雄谷理事長からは、許可がでることはなかった。しかし、粘りはその壁を打ち破り（執拗にお願いする電話に）、たった一人の議員のための視察を例外的に受け入れたのだ。雄谷理事長の下で働く、シェア金沢の速水マネージャーは「どうしてたった一人の視察を理事長は受け入れたのだろう」と不思議がった。

ここに議会事務局への感謝の意をのべ、視察の報告とする。

BUSSI-EN  
Social Welfare Organization



佛子園 理事長 DEO  
JOCA 代表理事 会長

雄谷 良成

社会福祉法人佛子園 / 〒924-0024 石川県白山市北安田町548番地2  
Tel:076-275-0616 Fax:076-275-0689  
E-mail [REDACTED]

公益社団法人 青年海外協力協会 / 〒399-4112 長野県駒ヶ根市中央16番7号  
Tel:0265-98-0102 Fax:0265-98-0838  
E-mail [REDACTED]



社会福祉法人 佛子園

マネージャー

速水 健二

Hayami Kenji

Share<sup>シェア</sup>金沢

〒920-1165 金沢市若松町セ104番1  
Tel:076-256-1010 Fax:076-256-1020  
法人携帯電話 [REDACTED]  
E-mail [REDACTED]



BUSSIEN  
GROUP

# 政務活動報告書

会派名 無所属(りんごの会) 石岡 千鶴子

年 月 日	令和 7 年 11 月 12 日 ~ 令和 7 年 11 月 14 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	11月13日(木)午後2時~ 甲武信ユネスコエコパークインフォメーションセンター(山梨県甲府市山宮町片山3371)			
	14日(金)午前8時30分~ ユネスコエコパーク関係施設(武田神社、生産者経営ワイナリー施設) ※14日(金):当初視察を予定していた金櫻神社と昇仙峡は、熊の出没による安全確保のため中止			
相手方 (会議名等)	12日(水) 弘前-新青森駅-大宮駅-新宿駅-甲府駅(甲府市内泊)			
	13日(木) 甲府市内泊			
	14日(金) 甲府駅-新宿駅-東京駅-新青森駅-弘前			
	日本ユネスコエコパーク 現地ワーキンググループ 参加者 26名 【ユネスコエコパーク関係者】12名(只見、みなかみ、白山、志賀高原、南アルプス、綾、屋久島・口永良部島、祖母・傾・大崩) 【講師・事務局・オブザーバー等】14名(日本ユネスコエコパークネットワーク事務局、甲武信ユネスコエコパーク関係者、大学関係者ほか)			
参加議員名	石岡 千鶴子			
活動の概要	別紙のとおり			
活動に要した経費	※会議・研修資料等があれば、添付してください。			
	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	鉄道賃及び宿泊費	59,140 円	2	
		円		
		円		
		円		
		円		
	合計額	59,140 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

# 令和7年度 無所属（りんごの会）石岡千鶴子 政務活動視察報告

## 【視察項目】

国内には10か所のユネスコエコパークが認定されている。これら10か所のBRの交流により、さらなる発展、強化を図るため定期的の実務者レベルの運営ワーキンググループが開催されている。2019年に登録された比較的新しい「甲武信（甲州、武州、信州）ユネスコエコパーク」でJBRN（ジャパン バイオスフェア リザーブ ネットワーク）運営ワーキンググループ会議がはじめて開催されることになり、今回、オブザーバーとして特別参加が認められたので参加してきた。ユネスコエコパークの現状と課題について考察したい。

## 【現地ワーキンググループ概要】

### 1, 目的

現地ワーキンググループの開催を通じて、各ユネスコエコパークの取り組みやノウハウ等について情報交換を行うとともに、登録地間の交流によるネットワークの強化を図ることと、国内ユネスコエコパークの活動の発展を目指している。

### 2, 日時

令和7年11月13日（木）14時～14日（金）13時30分まで

### 3, 場所

甲武信ユネスコエコパークインフォメーションセンターほか

### 4, 対象者

ユネスコエコパーク実務担当者

### 5, 開催内容

#### (1日目)

- ・運営ワーキンググループ
- ・甲武信ユネスコエコパークの概要等について
- ・研修会・勉強会  
(ユネスコエコパーク世界大会について・山岳ネットワークについて)

#### (2日目)

- ・甲武信ユネスコエコパークの現地視察

### 6, 行程

別紙プログラムのとおり

## 【所感】

「現地ワーキンググループ」の参加者名簿を見ると、実務者と言うだけあって BR 関係自治体の役職が並ぶ。他に日本自然保護協会の「日本 MAB 計画支援委員会」の方々や、ユース（35 歳以下）の学生の参加も目立つ。

仮に環白神がユネスコエコパークの認定を得れば、「甲武信ユネスコエコパーク」の次、11 番目の BR になり、JBRN の仲間入りということになる。自分たちの BR としての活動の他に、国内 11ヶ所のネットワークとしての活動も求められるということだ。更にその上には世界大会もある。

1 日目の運営ワーキングでの話題は「会計収支の現状と見通し」で、特に 10ヶ所の BR が持ち回りで行う「こども霞が関見学デー」の運営資金のショートが課題として挙げられていた。収支報告書によれば 10 自治体の賦課金は等しく各 10 万円。近々赤字に転落する見込みだという。この日は明快な解決策は出なかった。

国連に拠出する費用、世界 BR のネットワークへの負担金などいくらになるのか、メリットだけでなくデメリットもしっかり把握しておく必要があるだろうと思う。

参加者の中にユースと呼ばれる 20 代の若者が 5 名ほど参加していた。文学、言語、植物など得意分野で力量を発揮すべく高学歴の持ち主たちである。こういった若者たちの活躍がユネスコエコパークの活動をけん引しながら未来へ繋げていく役割をするんだと感心した次第だ。

2 日目の現地視察は予定していた金櫻神社と昇仙峡は熊情報が出たため、安全確保のため中止となり、代わりに武田神社に変更となった。その後、ぶどう栽培農家の園地を見学し、生産者が経営するワイン酒造ワイナリー施設見学とレストランでの試飲と軽食は、思い出に残る研修となった。弘前に当てはめるなら、竹で編んだ手籠で収穫した後、シードル工場へ見学。アップルパイとリンゴジュースで軽食ということになるだろうか。

いずれにしろ、りんご栽培と関係産業が持続可能なサイクルに乗せながら、さらに発展する仕組みを構築することが肝心だと思う。

## 現地ワーキンググループ開催概要（案）

- 1 目的
 

現地ワーキンググループの開催を通じて、各ユネスコエコパークの取組やノウハウ等について情報交換を行うとともに、登録地間の交流によるネットワークの強化を図ることで、国内ユネスコエコパークの活動の発展を目指す。
- 2 日時
 

令和7年11月13日（木）14時から14日（金）13時まで
- 3 場所
 

甲武信ユネスコエコパークインフォメーションセンター  
（山梨県甲府市山宮町片山 3371）
- 4 対象者
 

ユネスコエコパーク実務担当者
- 5 開催内容
 

（1日目）

  - ・運営ワーキンググループ
  - ・甲武信ユネスコエコパークの概要等について
  - ・研修会  
（ユネスコエコパーク世界大会について・山岳ネットワークについて（予定））

（2日目）

  - ・甲武信ユネスコエコパークの現地視察
- 6 宿泊先・交流会
 

宿泊は各自で手配をお願いします。1日目の交流会は甲府駅周辺で開催予定です。  
※宿泊料、交流会費は参加者負担となります。交流会会場・交流会費は決定次第お知らせします。

## 7 行程

日時	内容	備考	
11/13 (木)	13:10～13:50	送迎（山梨県庁→会場）	甲武信ユネスコエコパークインフォメーションセンター
	14:00～16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営ワーキンググループ</li> <li>・甲武信BRの概要等について</li> <li>・研修会</li> </ul>	

	16:50~17:30	送迎 (会場→山梨県庁)	送迎 (会場→県庁)
	17:30~	各自宿泊先へ移動~チェックイン	
	18:30~20:30	交流会	
11/14 (金)	8:30	甲府駅出発	貸切バス
	8:30~13:00	・金櫻神社 ・昇仙峡 ・ワイナリー	
	13:00	甲府駅到着・解散	



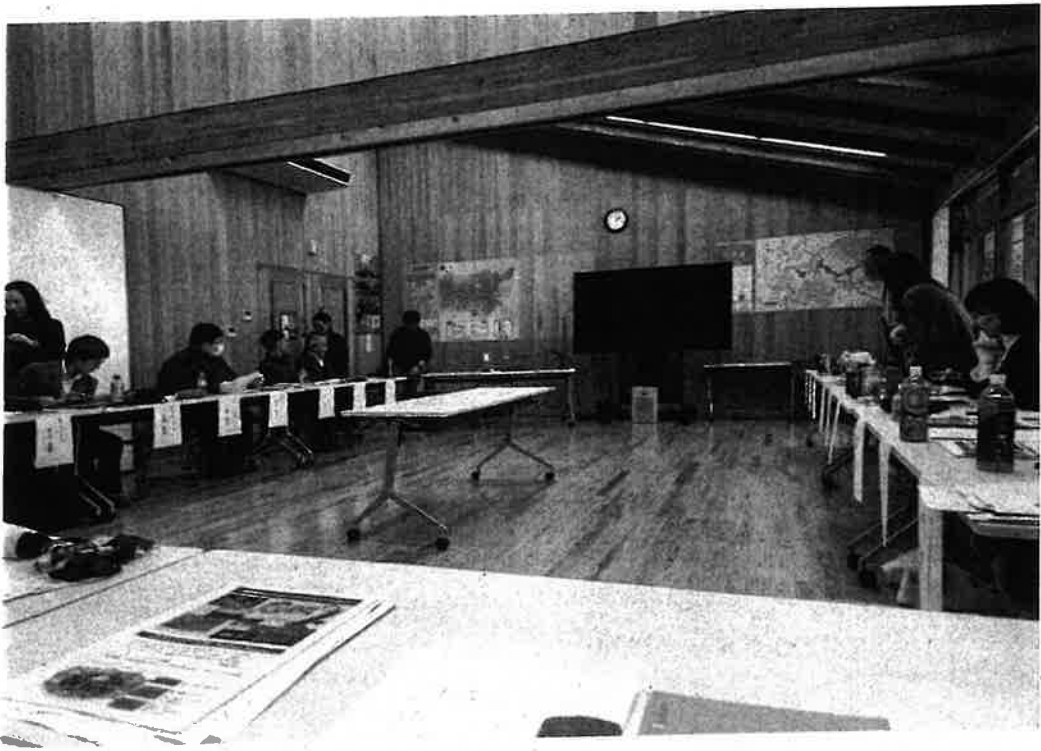
甲武信ユネスコエコパーク インフォメーションセンター前で



山梨県庁から車で30分、甲府市を見下ろす高台から。どこからでも見える富士山。



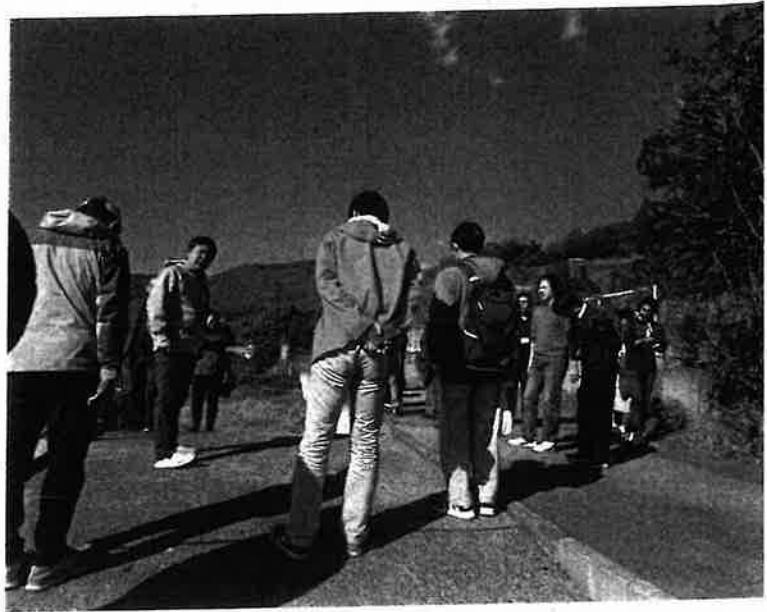
会議会場のロビー



ユネスコエコパーク世界大会における  
日本の取り組みを発表



ワイナリーを経営する園主から説明を受ける



レストランで試飲

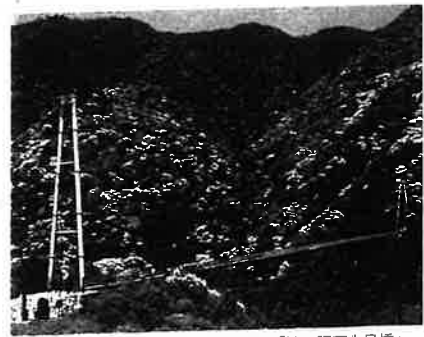


山梨県森林環境部  
自然共生推進課  
自然公園・治水・環境活動担当  
主査



萩原 寛子

〒400-0075 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号  
TEL 055-223-1334  
FAX 055-223-1781  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp>



世界一の照葉樹林と人とをつなぐ「綾の照葉大吊橋」

綾町役場

ユネスコ エコパーク推進室 エコパーク推進係

かわののぶき  
係長 河野 円樹  
博士(環境学) 学芸員  
生物分類技能検定一級(植物)

〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣442-3  
TEL (0985)77-3482(直)  
FAX (0985)77-5125

E-mail  
個人E-mail



京都大学大学院 総合生科学館(思修館)  
博士課程

野村 紀帆

言語学・ネットワーク科学

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1  
京都大学東一条館1階 京都大学 大学院  
総合生科学館(思修館)

県立武田の杜保健休養林

サービスセンター  
鳥獣センター

所長 村山 力  
Murayama Chikara



甲武信  
ユネスコエコパーク

〒400-0075  
山梨県甲府市山宮町片山3371  
TEL/FAX 055(251)8551  
E-mail  
URL <https://y-zouen.jp/takeda/>  
(指定管理者: 山梨県造園建設業協同組合)

こばやし  
かいり  
小林  
海溜

- 九州大学地球社会統合科学府
- 日本MAB計画支援委員会 委員
- 国際自然保護連合日本委員会  
Regional Youth Coordinator

〒215-0017  
神奈川県川崎市麻生区  
Tel.  
Mail

美しい富士山を望むまちにらさき

韭崎市 商工観光課  
課長

井上 武幸  
inoue takeyuki

〒407-8501  
山梨県韭崎市水神一丁目3番1号  
TEL: 0551-22-1111(内線210)  
FAX: 0551-22-8479  
E-Mail



新府橋頭郷と富士山